

# 地方分権改革における、地方の課題解決の第一歩 提案募集方式について

～提案募集方式により、地方の実情を踏まえた権限移譲・規制緩和等の改革が可能に～

「地方分権改革に関する提案募集の実施方針」(平成26年4月30日、地方分権改革推進本部決定)に基づき、地方の発意に根ざした新たな取組を推進するため、個々の地方公共団体等から改革に関する提案を広く募集し、それら提案の実現に向けて検討を行う「提案募集方式」を平成26年から導入しています。

## 提案の主体

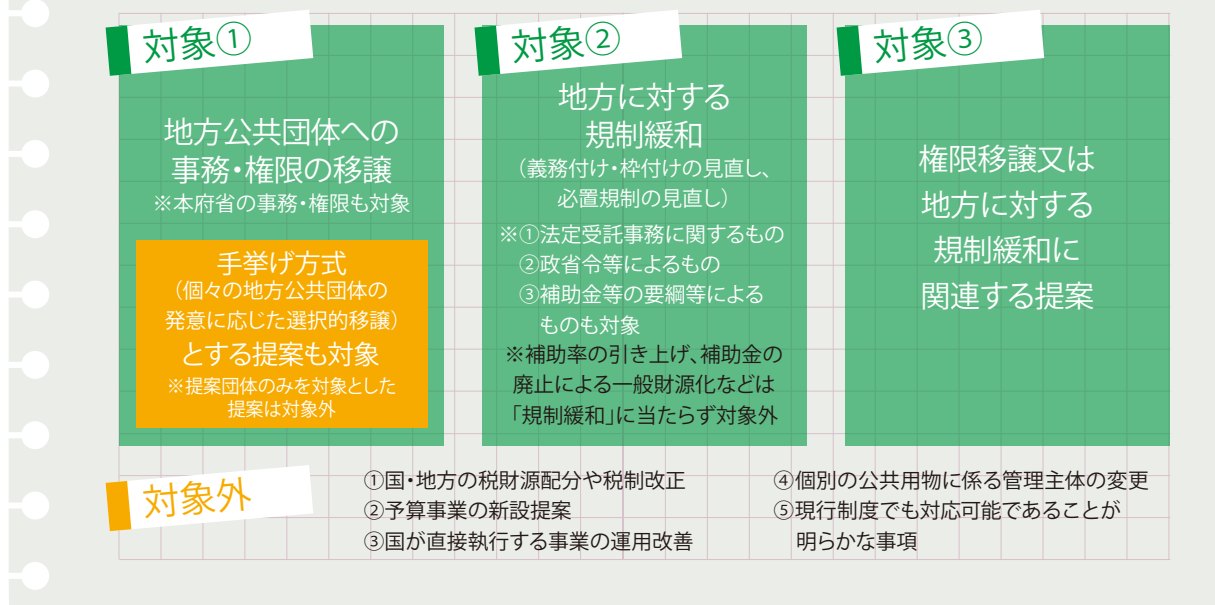
- (1) 都道府県及び市町村(特別区を含む。)
- (2) 一部事務組合及び広域連合
- (3) 全国的連合組織(地方自治法(昭和22年法律第67号)第263条の3第1項に規定する全国的連合組織で同項に規定する届出をしたものをいう。)
- (4) 地方公共団体を構成員とする組織(上記(3)を除く。)

## 提案の対象

- ① 地方公共団体への事務・権限の移譲
- ② 地方に対する規制緩和(義務付け・枠付けの見直し及び必置規制の見直しをいう。)

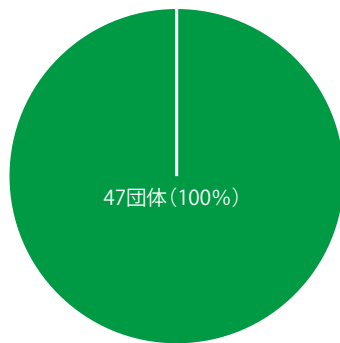
※義務付け・枠付けの見直しとは、国が法律などに定めた「地方公共団体は××の事務を行わなければならない」、「××の事務を行う場合は△△の方法で行わなければならない」など、全国一律に定めた基準を廃止したり、条例に委任したりする見直しをいう。

## 提案の対象範囲のイメージ図

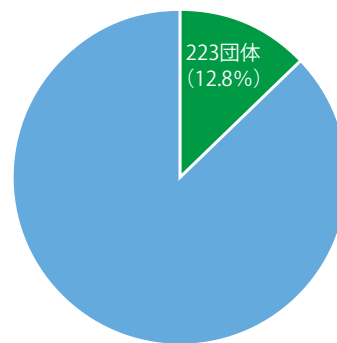


## 提案団体数(平成26年～29年・累計)

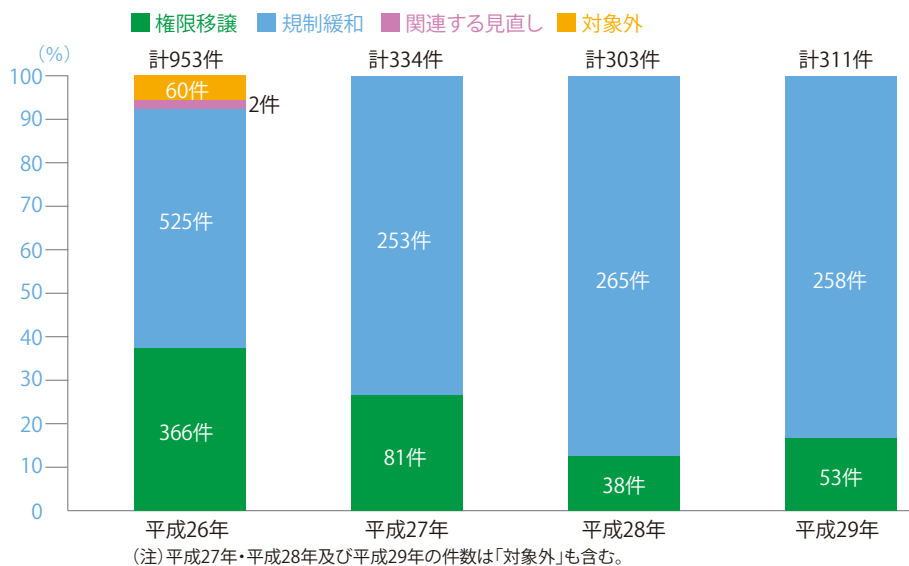
●都道府県(47団体)



●市区町村(1,741団体)



## 提案件数(平成26年～29年)



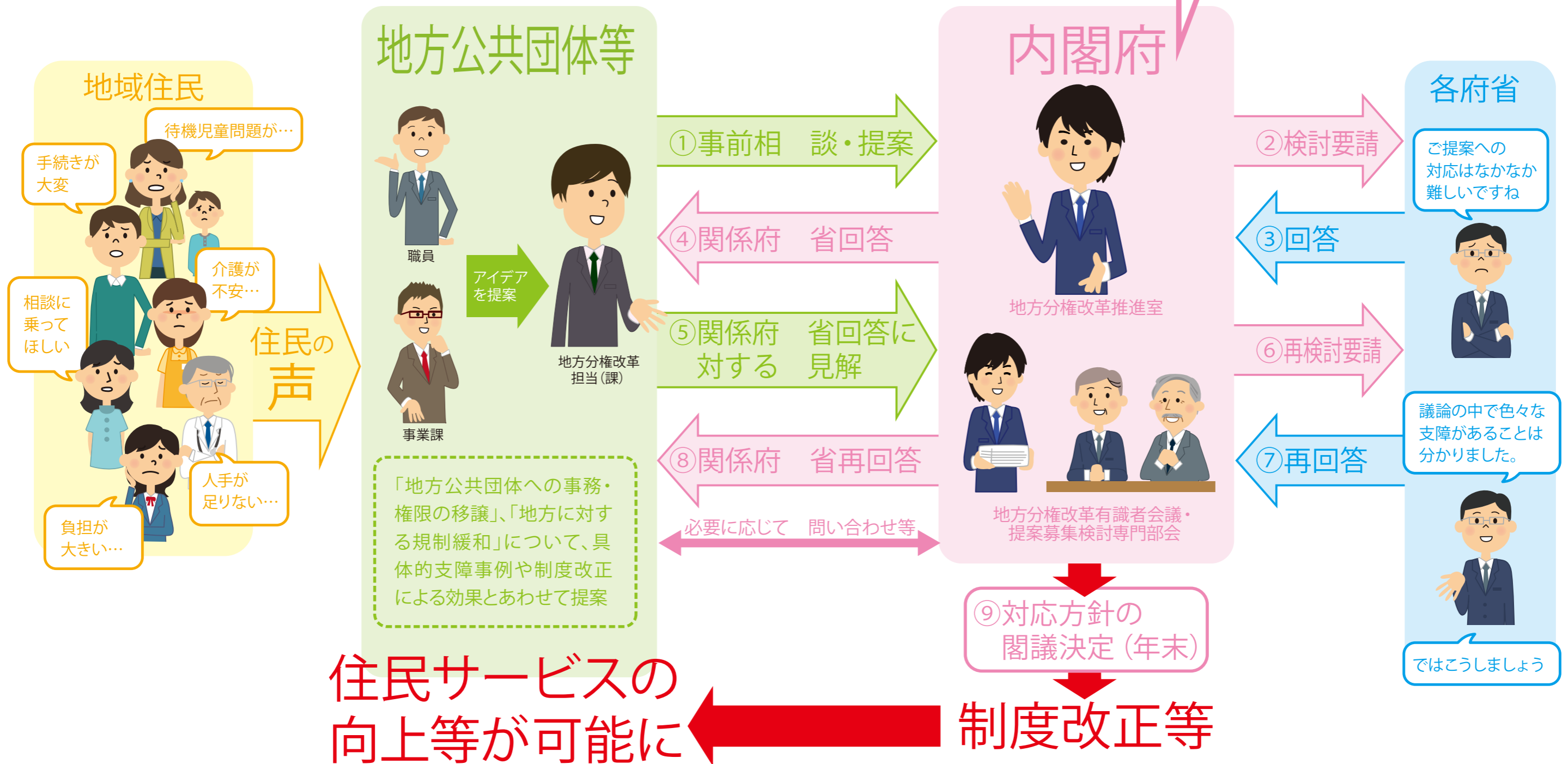
## 対応状況(平成26年～29年)

年	(件数)					実現・対応の割合 c/e
	提案の趣旨を踏まえ対応 a	現行規定で対応可能 b	小計 c=a+b	実現できなかったもの d	合計 e=c+d	
平成26年	263	78	341	194	535	63.7%
平成27年	124	42	166	62	228	72.8%
平成28年	116	34	150	46	196	76.5%
平成29年	157	29	186	21	207	89.9%

(注)合計は、提案があったもののうち、予算編成過程での検討を求めるもの、これまでの提案募集で既に扱われたもの、提案募集の対象外であるもの等を除いた提案に係る件数

## 提案募集方式の主なプロセス

地方からの事前相談を経て、内閣府が受け付けた提案は、地方分権改革有識者会議及び専門部会に諮られ、調査・審議が集中的に重ねられます。こうした関係者の調整結果を踏まえ、年末には、「地方からの提案等に関する対応方針」が閣議決定され、一括法を制定するなど必要な法律改正や政省令改正、又は通知等の取組が進められることとなります。



## 地方における提案募集方式のさらなる活用に向けて

各地方公共団体において、地方分権改革に関する提案が持続的に行われるためには、提案検討の際に地域住民の声が反映され、提案実現後にはその取組の成果が地域住民に還元されるとともに、さらに地域を良くするための新たな課題を見出す好循環の仕組みをつくるのが重要です。

### 地域の取組例①

#### シンポジウム・セミナーにおける情報発信

- 地方公共団体職員や地域住民等に対する啓発のため、シンポジウムやセミナーにおいて、提案募集方式の概要や地域の取組状況について広く紹介。



高橋 滋  
地方分権改革有識者会議・提案募集  
検討専門部会長による講演  
(H29.2 地方分権セミナー(宮城県))



パネルディスカッションにおける地域の  
取組紹介  
(H29.3 地方分権改革シンポジウム(内閣府))

### 提案募集方式を活用した 地域課題の解決イメージ

地域住民の悩みを各自治体が把握。内閣府へ提出された提案の芽は地方分権改革の成果として実を結び、住民サービスの向上等の形で地域住民に還元される輪となる。そしてその輪は次なる課題を見出し、新たな提案の芽として伸びていく。



### 地域の取組例②

#### 住民参加型ワークショップの開催



- 郡山市では、中核市移行20周年を契機として、さらに地方分権改革を推進するため、市職員だけでなく一般市民も対象としたワークショップを企画・開催。
- 平成29年7月に実施したワークショップでは、地域の町内会や企業、専門学校等からの一般参加者と市職員(計70名程度)でグループディスカッションを行い、「地方分権改革の成果を実感できる情報発信のあり方」や「地域課題の効果的な把握方法」について活発な意見交換を実施。



グループディスカッション



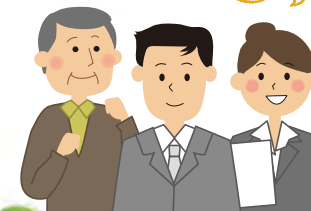
出されたアイデアに対する投票



発表

### 住民参加型ワークショップ 参加者からのコメント

- はじめは地方分権改革について正直分からなかったが、このワークショップを通して理解でき、地域について改めて考えることができた。
- 日々の業務の中でも活かせるアイデアが多かった。
- 様々な考え方や価値観、アイデアを共有できて良かった。



このような機会はめったにないで増やしてほしい。この機会自体が、(住民への)提案募集方式の周知につながると思う。